

4 第3次計画策定内容



○基本理念

「誰もが健康で安心して住み続けられるまちづくり」

第1次計画、第2次計画から継続している基本理念のもと、第3次計画の実施項目を策定してきました。

○全体目標

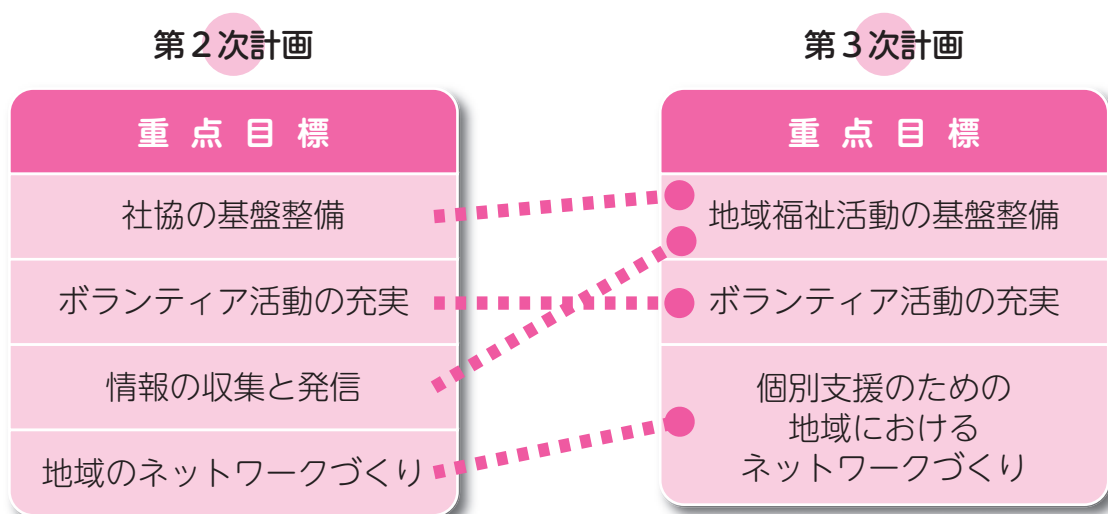
「つ・な・が・り」をつくる

第3次計画では、上記の全体目標を設定し、住民同士のつながりを深めるなどの既存のつながりの強化、地域住民と社会福祉施設、企業など今までなかった、新たなつながりの構築など、「つ・な・が・り」づくりを大きなテーマとして位置づけ、取組方針、取組事業などを選定しました。

○重点目標

第2次計画において設定した4つの重点目標を、第2次計画の進捗状況、現在の北区の情勢などを考慮し、第3次計画では3つの重点目標を設定しました。

なお、第3次計画策定にあたっては、各重点目標ごとにワーキンググループを設置し、議論を進めてきました。



重点目標1：地域福祉活動の基盤整備

第2次計画では、「社協の基盤整備」「情報の収集と発信」とそれぞれ独立した重点目標として取組みを進めてきましたが、第3次計画においては、一体的に取り組むことの多いこの2つの重点目標を、「地域福祉活動の基盤整備」という形で統一しました。

第2次計画では、北区社協マスコットキャラクター「ふくちゃん・きたちゃん」の誕生、地域福祉推進の手助けをしていただく「地域福祉サポーター」の登用、地域情報紙「ちいきほっとニュース」の発刊などに取組んできました。

ただ、まだ社会福祉協議会の存在が住民に広く知られていない現状もあり、赤い羽根共同募金、賛助会費など地域福祉推進に必要な財源を確保するのが年々厳しい状況になってきています。

上記第2次計画の取組みを継続しつつ、第3次計画では、新たに、マスコットキャラクターグッズの販売、北区社協事業の紹介DVDを作成するなど地域福祉活動の“見える化”及び財源確保に取り組んでいきます。

重点目標2：ボランティア活動の充実

第2次計画では、ボランティアの育成、ボランティア活動を継続できる支援などに取組んできました。

その中で、ボランティアの居場所づくりの一環で始まった「プチサロン ふくちゃん・きたちゃん～ふくしがきた～」(以下「プチサロン」)などの新たな取組みが生まれ、ボランティアの育成、ボランティア同士のつながりが深まるなど、少しずつではありますがボランティア活動が充実してきている兆しが見られます。

第3次計画においては、プチサロンなど事業を通じたボランティア同士のつながりを深めていくことに加え、普段福祉に関わっていない住民層が地域福祉活動に参加できる取組み、住民個々の困りごと(個別支援)への対応を目的としたボランティアの育成などに取組んでいきます。

重点目標3：個別支援のための地域におけるネットワークづくり

第2次計画では、「住民自身による地域福祉の推進」のための地域福祉推進協議会(以下「推進協」)の充実についての取組みを実施し、地域での見守り・支え合い活動を進めるための「地域支え合いマップ」づくりや住民に推進協をより良く知ってもらうための取組みなどを進めてきました。

しかしながら、推進協活動の担い手が民生委員に偏っている傾向はまだまだ根深く、推進協が地域福祉を推進する組織であるということが、地域住民全体にまだまだ浸透していない面も見受けられるため、推進協機能のさらなる充実が求められて



います。

それに加え、第3次計画では、策定のポイントとして挙げている「個別支援」（住民個々の困りごとへの対応）に着目したネットワークをつくることを目的に「地域でつながる場所・居場所づくり」、「社会福祉施設等と地域のつながりづくり」、また、近い将来に高い確率で発生するとされている南海トラフ巨大地震に備えた「災害に強い地域づくり」などに取組んでいきます。

○基本目標

前述の本計画で取組むべき「福祉課題」を、『基本目標』と読み替えて、5つの目標を設定しました。

○取組方針

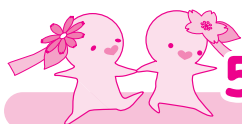
「基本目標」（福祉課題）を達成するための取組方針を12項目設定しました。

○取組事業

前述「取組方針」に基づき、実施事業を18項目設定しました。

体系図は次のページをご覧ください

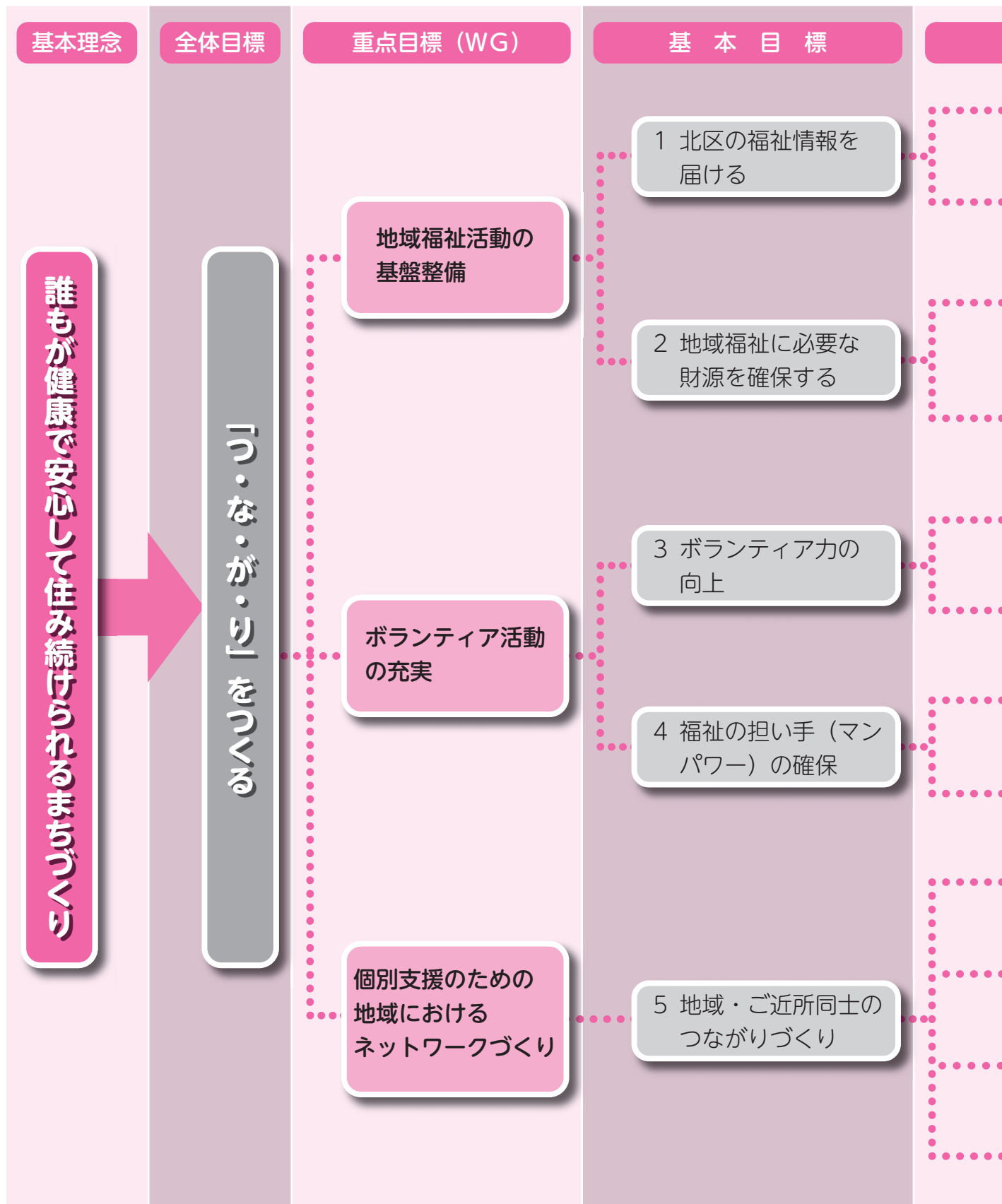




5 第3次活動計画体系図



5 第3次活動計画
体系図



取組方針

(1) 親しみやすく身近な社協をPRする (P.16)

(2) 誰でもわかりやすい福祉情報を届ける (P.17)

(3) 地域の住民や団体にわかりやすい賛助会費・共同募金にする (P.18)

(4) 各種団体と協働して寄附活動に参加しやすい仕組みをつくる (P.19)

(5) ボランティアセンターの充実 (P.20)

(6) ボランティア活動への支援 (P.21)

(7) 地域福祉の担い手をつくる (P.22)

(8) 地域で進める福祉教育の充実 (P.23)

(9) 地域でつながる場所・居場所をつくる (P.24)

(10) 災害に強い地域づくりを進める (P.25)

(11) 地域福祉推進協議会活動への支援 (P.26)

(12) 社会福祉施設等と地域のつながりづくり (P.27)

取組事業

①キャラクターイメージを活かし社協をPR

②受け手の状況に合わせた方法で福祉情報を届ける

③講座やイベントで福祉についてPR

④賛助会費や共同募金をPRする広報グッズの作成

⑤寄附金付きマスコットキャラクターグッズの販売

⑥寄附活動を始めとした「社会貢献活動プログラム」の作成

⑦様々な媒体を使ったボランティア情報の発信

⑧ボランティアの協力を得たボランティア相談の実施

⑨ボランティア同士のたまり場づくり

⑩ボランティア研修会の実施

⑪福祉に関わっていない層を対象とした講座の実施

⑫「地域生活を支えるボランティア」の育成、活用

⑬地域で実施する「福祉の心を育てるプログラム」の作成

⑭「居場所づくりの手引き」の作成

⑮手助けが必要な方の視点を盛り込んだ講座等の実施

⑯地域福祉推進協議会についての研修会を実施

⑰地域における支え合い活動の推進

⑱社会福祉施設等と協働したイベントの実施



